



鶴生田川「こいのぼりの里まつり」

沼辺に開かれた城下町、館林



城沼

山から平野
まで変化に富んだ地形に、利根川をはじめとする河川や火山湖、沼、湿原など多彩な水辺がある群馬県。そんな群馬の水辺をめぐる旅に、ほべたんと一緒に出かけましょう！



ほべたん、館林市第一資料館へ！

マを見たあとは、街を歩いてみましょう。旧城下町エリアや城沼のほとりには、歴史を物語る建物や景色が点在しています。ほべたんは、狐が尾を引いて城の縄張り(設計図)を示したという

伝説が残る尾曳稲荷神社や、城への通用門だった土橋門、武家屋敷など、館林城の面影をたどりました。



館林城跡 三の丸土橋門

明治時代以降、館林は新たな発展を遂げます。東武鉄道開通を契機に製粉業や織物業が興隆。城沼は行楽地として賑わい、旧城下町には行楽客をもてなす花街も生まれて華やかな時代を迎えました。

春、城沼周辺は桜やつつじで彩られ、鶴生田川では約3000匹

のこいのぼりが泳ぐ「こいのぼりの里まつり」を開催。こいのぼりを見上げながらのボード遊び、橋上カフェ、夜は幻想的なぼんぼりの灯りも楽しめます。自然と人、歴史文化が調和する沼辺の街、館林を訪ねてみませんか？

旅の出発点は、群馬県東南部に位置する館林市。利根川と渡良瀬川に挟まれた低地に大小の沼が点在し、沼とともに歩んできた街です。館林は、江戸時代に築城された館林城の城下町として栄えました。館林城は鶴生田川が流れこむ城沼に突き出た台地にあり、三方を沼や川に守られた防衛力の高い城でした。江戸時代になると、沼とながる堀と土塁で城下町全体が囲いこまれ、沼地を活かした堅固な町が誕生。町には商人や職人が集められ、日光脇往還などの街道も整備されたことで館林は発展します。歴代城主は城沼南岸につつじの名園を築き、花見の文化も生まれました。当時の町の区画や街道、文化風習の多くは今に継がれ、館林の礎となっています。

「どんなお城だったのかな？」興味を持ったほべたんは、館林市第一資料館へ。江戸時代後期の館林城を再現したジオラマが展示され、城の全体像を知ることができます。ジオラ



尾曳稲荷神社



こいのぼりの里まつり
場所：鶴生田川・近藤沼・茂林寺川・多々良沼
期間：3月22日(土)～5月6日(火)
概要：市内4ヶ所に約4000匹のこいのぼりが掲揚され、期間中、コーヒーフェスティバルや芋煮会、Menkoiガールズライブなどの各種イベントを開催。

編集だより

取材の合間に、城沼ほとりのカフェでランチ休憩。店内は温室植物園を改装した広々とした空間で、ゆったりと寛げます。看板メニューのハンバーガーは、全粒粉を使った香ばしいバンズとアングスビーフ100%の自家製パティが好相性！大きいのにペロリと完食しました。テラス席ではBQも楽しめます。



シュガーヒル カフェ
SUGAR HILL CAFE

住所…館林市花山町3181 (つつじが岡公園内)
営業時間…11:00～18:00 (LO 17:30)
※つつじまつり期間中は変則営業
TEL…0276-52-8306
定休日…月曜(祝日の場合は翌火曜)